

今年度のケーススタディ

2023.12.6

第4回 都市交通調査の深度化に向けた検討委員会

ケーススタディの設定（案）

- 公共交通施策と人口・施設の集約状況に応じて複数のシナリオを設定して比較分析
 - 公共交通施策
 - ① **公共交通幹線区間の強化**（バス幹線のサービス向上、鉄道新駅の設置等）
 - ② **地域交通の強化**（市街地循環バス、タクシー活用等）
 - 集約状況
 - ① **夜間人口の集約**
 - ② **施設の集約**

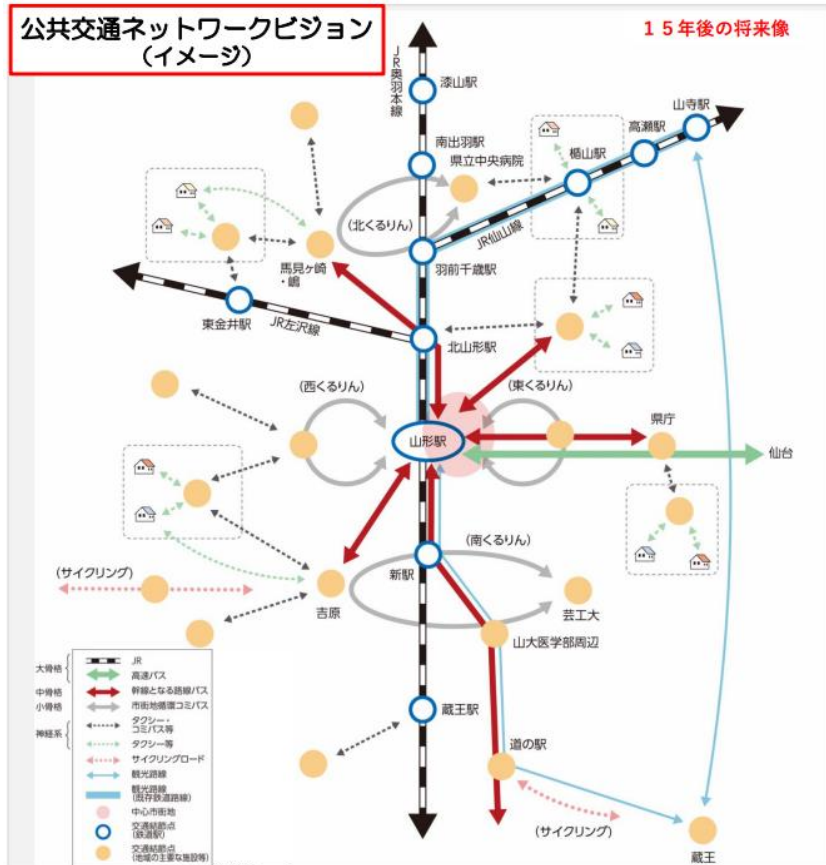
評価指標

- 公共交通利用トリップ数、公共交通分担率
- 都心への集中トリップ数（中ゾーン単位）
- 高齢者の外出率 等

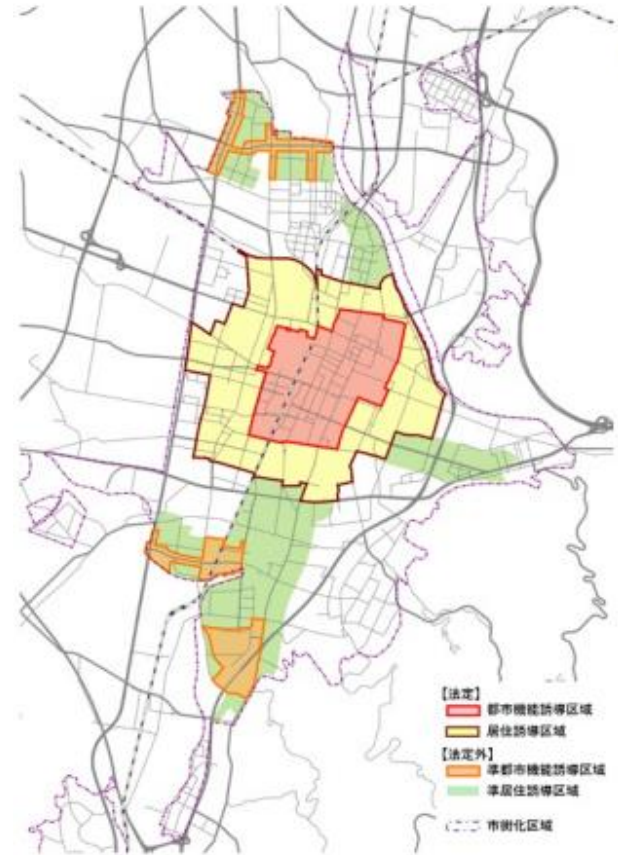
シナリオ	公共交通NW	人口配置	施設配置
現況	現況	現況	現況
将来（趨勢）	現況	趨勢	趨勢
将来①：公共交通強化	幹線＋地域交通	趨勢	趨勢
将来②：居住側強化	地域交通強化	集約	趨勢
将来③：都心側強化	幹線強化	趨勢	集約
将来④：バランス	幹線＋地域交通	集約	集約

ケーススタディの対象都市

- 対象都市：山形都市圏
 - 公共交通施策：地域公共交通計画における公共交通ネットワークビジョンに示された幹線バスや地域交通の実現を想定
 - 集約状況：立地適正化計画における居住誘導区域・都市機能誘導区域への集約を想定



出典：山形市地域公共交通計画（令和3年3月）



出典：山形市立地適正化計画（令和3年3月）